

差出人: 大分県建築士会大分支部 <info2@oita-shikai.or.jp>
送信日時: 2023年9月29日金曜日 9:50
宛先: info2@oita-shikai.or.jp
件名: ★事務局ニュース★No.113

2014(平成26)年5月23日創刊



No.113

2023(令和5)年9月29日発刊

目次

必見!! 「おおいたの推しの建築展」絶賛準備中 !!

報告

- ① ARTPLZA建築キッズフォトコンテストの開催
- ② ビルド大分スクール「土木・建築のおしごと教室」
建築講座の開催
- ③ 柞原八幡宮仲秋祭・浜の市 神輿昇奉仕の開催

④ まちづくり・建築よろず相談会の開催

⑤ 建築模型製作体験の開催

案内

① 今後のイベント等(来月)

★①. 建築物グリーン化促進事業

「令和5年度 第1回技術者向け研修会」の開催 @大分銀行宗麟館

★②. 和のすまいをつくろうの開催 @ホルトホール大分

★③. 磯崎新大分市美術館連携事業

「おおいたの推しの建築展」の開幕 @大分市美術館

★④. 建築甲子園大分県大会選考会の開催 @iichiko総合文化センター

② 定期スケジュール(来月)

☆①. 監理技術者講習の開催

☆②. 建築士定期講習の開催

☆③. 既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新講習)の開催 **未開催**

☆④. まちづくり・建築よろず相談会の開催

③ 連合会からのご案内

▲1. 新型コロナウイルス感染症関連情報

▲2. 建築士賠償責任補償制度(けんばい)

▲3. 民間(七会)連合協定工事請負契約約款の改正

▲4. 民間(七会)連合協定 小規模建築物工事約款、
マンション修繕工事約款、
リフォーム工事約款の改正について(お知らせ)

▲5. 免状型の一級建築士登録証明書の発行

④ 図書・書式のご案内

▲ 1. 各種契約書類及び契約約款(改正版)の発刊

連載 まっちゃんの伝建地区を巡る旅

寄稿者多忙なため休載します。

連載 ザキヤマさんの秘境奇行

寄稿者多忙なため休載します。

交流ひろば

- 私話題の建築「大きな屋根の小さなすまい」

和田恵利子さん(空のすまい設計室)の

「おおいた 木の良さを生かした建築賞2019」最優秀賞作品

- 私のほっと、Hotタイム 「野菜作り10年選手」

衛藤祐介さん(MCS環境計画一級建築士事務所)

掲 示 板

大分支部青年部「班員の募集」について

大分支部 賛助会員一覧

⇒事務局よりお知らせ

※掲載された写真等をご希望の方は、事務局へご連絡ください。



必見!! 磯崎新大分市美術館連携事業

「おおいたの推しの建築展」絶賛準備中 !!

OITA FAVORITE ARCHITECTURE EXHIBITION

2023.10.20 FRI—2023. 11.19 SUN

入場無料 | 大分市美術館 企画展示室 1

10:00-18:00 《 休館日 10/23,10/30,11/7,11/13 》

主催→大分市・(公社)大分県建築士会・大分市教育委員会
協賛→大分キヤノンマテリアル㈱・キヤノン㈱・(一社)大分県建築士事務所協会・
(公社)日本建築家協会九州支部大分地域会・(一社)大分県建築業協会・
大分県インテリア設計士協会
協力→アートプラザ
後援→大分合同新聞社・NHK 大分放送局・OBS 大分放送・TOS テレビ大分・
OAB 大分朝日放送・エフエム大分・J-COM 大分ケーブルテレビコム・
(一社)日本建築学会九州支部大分支部・日本インテリア学会九州支部



おおいだの



推し

お

の 建築展

磯崎新と大分のまちづくり

おおいたの推しの建築展 - 磯崎新と大分のまちづくり -



昨年末（2022年12月28日）、大分市出身の世界的建築家である磯崎新氏（1931-2022）が逝去されました。氏が生前に展開したその活動は建築分野にとどまらず、芸術・文化の広範囲にわたって偉大な足跡を遺した人物であったことは周知の事実です。では、磯崎新氏とはどのような建築家だったのでしょうか。ここ大分の地は磯崎氏の生まれ故郷であり、彼の思想を理解するための様々な手がかりが残されています。もし仮に磯崎氏がいなかったとしたら、おそらく大分の現在は、随分異なる様相を呈していたはずで、その存在感と影響力は、大分に残された建築群をはじめ、現在のまちなみ、アートシーンに現れているといえます。磯崎氏の建築をはじめ、これまでに築かれた大分の建築文化や建築そのもののもつ魅力に触れていただくことで、本展覧会が大分の未来について思いを馳せるきっかけとなれば幸いです。

なお、「推し」とは、近年使われている造語でイチオシから派生したものとされ、人に薦めたいほど好きなキャラクターやモノを「推し」と呼びます。本展覧会では、大分の建築士たちが推す、すなわち「推し」の建築を展示します。会場は以下のテーマに分けて構成します。

『ARTPLAZA けんちくキッズフォトコンテスト 作品展』

大分キャンノンマテリアル㈱、キャンノン㈱の協賛により、子どもたちがアートプラザを被写体として本格的な一眼レフを使用した建築撮影会を実施しました。無垢な感性による建築写真をお楽しみください。

『磯崎新と大分市』

磯崎氏が発表した大分駅周辺における「県都コア構想」の模型や、大分市の中心市街地の変遷をたどる写真展示など、磯崎氏の活動を通しておおいたのまちづくりを紹介します。

『オシカツ（推しの建築活動）』

建築士は建築を造る仕事以外に、専門家の立場から様々な社会・地域貢献活動に取り組んでいます。ここでは県内各地で地域性豊かに展開されている「推しの建築活動」を紹介します。

『オシホン（推しの書籍）』

書籍は、建築の創造力の源です。磯崎氏は建築だけでなく数多くの著書も残しています。このコーナーでは磯崎氏の著書をご紹介しますと共に、建築士の愛読書である「推しの書籍」を展示します。

『オシケン（推しの建築）』

大分で働く建築士が、それぞれの視点からお薦める、大分県内の「推しの建築」を展示します。プロの目を通して見た大分の建築文化を体感することができるコーナーです。



アートプラザ（日・大分県立大分図書館）



県都コア構想 都市計画模型

トークイベント「磯崎新と私」

磯崎氏とつながりのある専門家が、知られざる磯崎氏のエピソードなどを紹介します。第1回は11月5日（日）島岡成治氏（日本文理大学 副学長）、第2回は11月18日（土）青木茂氏（建築家）・菅章氏（大分市美術館館長）です。

最新情報は
こちら→



関連イベント

大分市美術館第3期コレクション展「追悼 磯崎新 ポスト・モダンの時代」

昨年末、この世を去った大分市出身の世界的建築家・磯崎新は、ポスト・モダニズムの旗手として、1980年代の世界的な思潮を牽引しました。ポスト・モダンの傾向は建築分野にとどまることなく、芸術・文化・思想全般に波及しました。磯崎新の代表作だけでなく、大分市美術館所蔵の大竹伸朗、森村泰昌、岡崎乾二郎らの美術作品を通して、ポスト・モダンの時代を観覧します。

会期：9月21日（水曜日）～12月24日（日曜日）

場所：大分市美術館1階 常設展示室3・4

観覧料：一般 310円、高校生・大学生 210円、中学生以下無料

鉄道模型運転会「オシケン 推しの鉄道模型」

日時：11月1日（水曜日）～11月5日（日曜日）

午前10時～正午、午後1時～3時

場所：大分市美術館1階 アートラウンジ（図書コーナー側）

協力：上杉一幸氏

観覧料：無料

交通アクセス



・ご来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

・鉄道、路線バスの乗車や、公共交通に関するお詳しい情報はこちら→

【バス】 JR 大分新上野の森口（南口）バスのりばから中心市街地循環バス

【大分まへんバス】 【大分市美術館方面】 行約9分

【タクシー】 JR 大分新上野の森口（南口）から約9分

【車】 九州自動車道 大分ICから約10分

大分市美術館 〒870-0835 大分市大字上野 865 番地
[TEL] 097-554-5800 [FAX] 097-554-5811

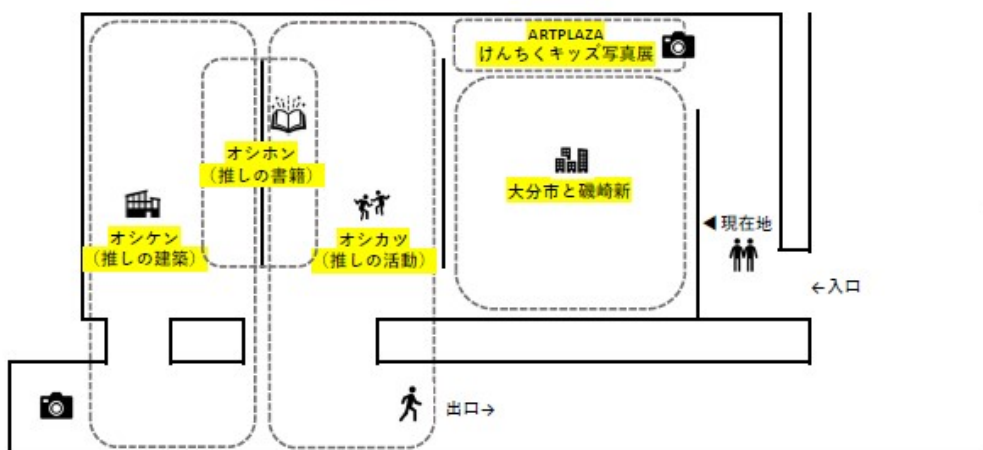
※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

会場案内

建築や都市はとても大きな存在です。最新の技術で造られ、たくさんのお金がかかり、長い歴史の上に建つ学問でもあります。それ故にわかりにくさがあります。この展覧会では建築関係者だけではなく、広く多くの皆さんにわかりやすく楽しんで頂けることを願いながら企画しました。

「推し」とは、近年使われている造語です。イチオシから派生したものとわれ、人に進みたいほどのキャラクターやモノを「推し」と呼びます。本展覧会では、大分の建築士たちが推す、すなわち「推し」の建築を展示します。会場を自由に探索して楽しんで頂き「推し」を見つけてください。

会場は下記のテーマに分けて会場構成しています。



推しを見つけてオシールを貼ろう！

受付でお渡ししたオシール（推しのシール）を貼ってください。会場内には、都市、建築、本、活動と様々な展示があります。皆さんが興味を持ってくれた展示にオシールを貼ってください。展示の説明パネルにオシールを貼る場所があります。ぜひ「推し」を発見してください！



絶賛準備中!!

報告 ① ARTPLZA建築キッズフォトコンテストの開催



磯崎新大分市美術館連携事業の「おおいたの推しの建築展」関連事業として、大分キヤノンマテリアル様の協賛で、「ARTPLAZA 建築キッズ フォトコンテスト」が、令和5年9月16日(土)に開催されました。

10時に小学生の参加者31人と保護者が、磯崎新氏設計のアートプラザ(旧大分県立図書館)の研修室に集まり、幸会長の主催者の挨拶で始まりました。

大分キヤノンマテリアルからは3名のスタッフ、建築士会からは、野口浩平さん、松田周作さん、甲斐啓大さん、小田部維さんの4名のスタッフがサポートしました。

大分キヤノンマテリアルからデジタル一眼レフのカメラが参加者に渡され、使い方や「自分だけの発見！」となる撮影のポイントをの説明がありました。

そして、野口浩平さんの、アートプラザの建設、保存運動、用途の変更等の歴史や、建物の特徴についての説明があり、撮影会へ移りました。

建物内部、建物外部北、建物外部南の3班に分かれて撮影開始し、15分毎に撮影場所を移動巡回して行われました。

暑い中、一所懸命に撮影を終えて、ふたたび研修室に集まり、印刷には色の3原色を使う説明がありました。その後、「お気に入りの1枚」を選んで、作品票に写真番号、タイトル等を記入して順番に印刷です。皆さん印刷された「お気に入りの1枚」を額に収めてシールやテープでデコレーションして満足気に12時半頃終了しました。

本日撮影した「お気に入りの1点」は「おおいたの推しの建築展」開催中に展示し、優れた作品は表彰もします。小学生の視点で撮った素晴らしい「作品」を是非ご覧ください!!



新聞記事【大分合同新聞：令和5年9月23日(土)掲載】
※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

報告 ② ビルド大分スクール「土木・建築おしごと教室」

建築講座の開催

本年度もBUILD OITA(おおいた建設人材共育ネットワーク)の委託事業で、「土木・建築おしごと教室」の「建築講座」が、令和5年9月17日(日)に開催されました。

建設分野の各団体が共同して、進路選択期を迎える中学生を対象に、建設分野への興味・関心を深め、建設系学科への進学を意識づけるために体験型の講座を実施する事業です。

「建築講座」は大分県建築住宅課と大分県建築士会が共同担当しています。

大分県建築住宅課から3名、大分県建築士会は、野口浩平さん、川端大輝さん、江崎志保さん、島田静香さんの4名のスタッフがサポートしました。

10時半に(公財)大分県建築技術センター 花津留庁舎の研修棟に、15名の参加者と保護者が集まり「建築講座」が始まりました。

最初は「3D設計ソフトでマイホーム設計体験」です。パソコンを使って、実際に「のび太の家」を設計する体験を行いました。

続いて「おりがみ建築ワークショップ」です。建築士会でお馴染みのワークショップを体験してもらいました。あっという間に時間が過ぎ、11時半に参加者、保護者、スタッフの集合写真を撮って終了しました。

デジタルとアナログの建築造りを体験し、将来、大分県で建築の仕事に携わるきっかけになってくれればと思います。



報告 ③ 柞原八幡宮仲秋祭・浜の市 御神輿昇奉仕の開催



コロナ禍で制限されていた「浜の市」が、4年振りの通常開催されました。

大分支部では「柞原八幡宮の御神輿」が、「浜の市仮宮（御旅所）」から「本宮」へ還るための「御神輿昇奉仕と宮司大傘奉仕」のお手伝いを例年行なっています。

令和5年9月18日（月・祝）の14時半に柞原八幡宮 浜の市仮宮に17名の担ぎ手等が集合して、白装束の衣装に着替えて、お祓いを受けた後、16時頃に「大分県建築士会大分支部」のプラカードを先頭に、御神輿、宮司、大傘奉仕と続き浜の市仮宮を元気に出発しました。

400m先の富士紡績付近でトラックに載せ、4km先の柞原八幡宮 本宮を目指して徒歩での行進です。途中で飲み物、お菓子等の接待を受けながら本宮の第一駐車場に着きました。そこから再び御神輿を担いで本宮の安置所に向かいますが、坂道と石階段で足元が悪い中で、苦労しながら無事安置することができました。東回廊で小雨と汗でびしょりの白装束の衣装を返し、社務所でお礼をいただき、再び浜の市の駐車場まで戻って、志き餅、お茶を受取り18時頃解散しました。

小雨模様の天気でしたが、旧来の伝統行事を体験することができました。

御神輿を担いだ肩の痛みに比例するように「柞原様」の恩恵がありますように!! 皆さんお疲れ様でした。来年も担ぎましょう!!



新聞記事【大分合同新聞：
令和5年9月16日（土）掲載】
※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

報告 ④ まちづくり・建築よろず相談会の開催

大分市まちなみ企画課・住宅課との協働により大分支部公益事業として、毎月定例で開催しています「まちづくり・建築よろず相談会」が、9月21日(木)10時から15時までJ:COMホルトホール大分のまちづくり情報プラザで開催されました。

この日は相談員の庵崎伸二さんと、江藤邦雄さんが対応いたしました。

次回は10月19日(木)です。開催案内は、大分市報速報、J:COMホルトホール大分のホームページ(イベントカレンダー)、掲示板、チラシ置き場(市民図書館横の腰壁)でもご案内しております。皆様の周囲の方でご相談を希望する方にお知らせください。

なお、よろず相談員を随時募集していますので、事務局(阿南・山田)までお気軽にご連絡ください。お待ちしております！

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp



報告 ⑤ 建築模型製作体験の開催



毎年好評の「建築模型製作体験」が、令和5年9月24日(日)に開催されました。

コンパルホールの300会議室に5名の参加者が集まり、9時半に始まりました。今回の参加者は全員女子高生です。

野口浩平さんの建築士会、本日の日程説明の後、「建築模型を活かした設計プロセス」と題しましてSMAA 松田周作建築設計事務所 代表 松田周作氏が多数の模型を使って、丁寧な解説の特別講座をしていただきました。

製作に先立ち、手始めに5cmの正方形キューブの作成体験で、実際の道具の使い方や加工製作のコツの説明を受けながら模型製作の基本を体験した後、いよいよ「住吉の長屋(安藤忠雄)」または「塔の家(東孝光)」、「スカイハウス(菊竹清訓)」の模型から一つ選んで、6時間かけての製作にとりかかりました。

初めての体験で最初は戸惑いもあったようですが、要領を掴むとコツコツと製作に取り組み、全員時間内に完成させました。

道具の片づけ、製作場所周囲のゴミ清掃を終え、全員の集合写真を撮って、17時半頃解散しました。

皆さんが建築士を目指して成長する事を願っています。



新聞記事【大分合同新聞：
令和5年9月16日(土)掲載】
※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



案内 ① 今後のイベント等

※いずれの行事も予定です。中止や延期の場合があります。

【凡例】

★①(黒塗潰し星・数字):「案内①今後のイベント等」で詳細案内

☆①(白抜き星・数字):「案内②定期スケジュール」で詳細案内

10月

- 8日(日) 一級・木造建築士設計製図試験 @大分県立芸術文化短期大学
- 11日(水) ☆①. 監理技術者講習 @事務局会議室
- 13日(金) ★①. 建築物グリーン化促進事業
「令和5年度 第1回技術者向け研修会」 @大分銀行宗麟館
- 15日(日) ★②. 和のすまいをつくろう @ホルトホール大分
- 19日(木) ☆④. まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分

- 20日(金)★③.磯崎新大分市美術館連携「おおいたの推しの建築展」

開幕日(11月19日まで) @大分市美術館

- 21日(土)★④. 建築甲子園大分県大会選考会 @iichiko総合文化センター
- 24日(火)☆②.建築士定期講習(士会受付) @大分職業訓練センター
- 27日(金) 全国大会 静岡大会 @静岡市

11月

- 1日(水) 増改築相談員研修の開催 @コンパルホール
- 8日(水)☆①.監理技術者講習 @事務局会議室
- 11日(土) 建築物グリーン化促進事業
「第1回県民向けフォーラム」 @ビーコンプラザ
- 14日(火)☆②.建築士定期講習(士会受付) @日田市 AOSE
- 16日(木)☆④.まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分
- 19日(日) 磯崎新大分市美術館連携「おおいたの推しの建築展」最終日
- 22日(火)☆③.既存住宅状況調査技術者講習(新規) @事務局会議室

12月

- 6日(水) 本部理事会
- 7日(木) 二級建築士試験合格発表
- 14日(木)☆②.建築士定期講習(士会受付) @大分職業訓練センター
- 21日(木)☆④.まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分
- 25日(月) 一級建築士試験合格発表
- 29日(金) 柞原八幡宮参道の年末大掃除の開催

★①.建築物グリーン化促進事業

「令和5年度 第1回技術者向け研修会」 @大分銀行宗麟館

大分県の委託事業として「省エネ建築物の普及促進への体制を整備し、住宅・建築物の環境品質の向上を目指す」ことを目標に小委員会を組織し検討を重ねています。「第1回技術者向け研修」を下記のとおり開催いたします。今回は特に既存住宅の省エネ改修事例の紹介と(一社)住宅医協会の三澤文子さんにそれらの事例について講評して頂きます。

金融機関からの融資についての説明も予定しています。お誘いあわせの上多数の参加をお願いします。

記

日 時: 令和5年10月13日(金) 13:30～16:30(開場: 13:00)

会 場: 大分銀行宗麟館5F 大会議室(定員80名)

(大分市東大道1丁目9-1) ※銀行駐車場は利用できません

内 容: ①「建築物グリーン化促進事業建築物グリーン化事業の背景と目的の説明、
令和4年度成果報告と令和5年度の事業内容について」

講師: (公社)大分県建築士会建築物グリーン化促進事業推進小委員会

末成祐二委員長

②「既存住宅を改修して住み継ぐこと」

講師: Ms建築設計事務所代表取締役、

一般社団法人住宅医協会 代表理事 **三澤文子氏**

③「県内事業者による改修事例紹介と講師による講評」

(事例紹介1)株式会社幸建設 **幸康史氏**

「温熱環境にフォーカスしたリノベーション」

(事例紹介2) seg住宅建築事務所 **瀬口正美氏**

「中古住宅購入から再生まで」(仮題)

※申込について: 下記のURLからお申込みください。

URL⇒

<https://docs.google.com/forms/d/1wBCIY3GA30KAuXT43DGs5Woni27uuTkkqnnWw7FbWlo/edit>

省エネ建築物の普及促進に向けた

第1回 建築技術者向け研修会

入場無料

日時:令和5年10月13日(金) 13:30~16:30
(開場:13:00)

会場:大分銀行宗麟館5F 大会議室(定員80名)
(大分市東大道1丁目9-1) ※銀行駐車場は利用できません

※ 申込については、裏面のURLもしくはQRコードから、1人ずつお申込み下さい。

研修内容

13:30~
13:40

「建築物グリーン化促進事業 建築物グリーン化事業の背景と目的の説明、
令和4年度成果報告と令和5年度の事業内容について」
(公社)大分県建築士会 建築物グリーン化促進事業推進小委員会 末成委員長

13:40~
15:10

「既存住宅を改修して住み継ぐこと」

講師 Ms建築設計事務所 代表取締役
一般社団法人住宅医協会 代表理事 三澤文子氏

講師の三澤文子氏はご自身の設計事務所で木造住宅を中心に新築、改修の仕事を数多く手がけられ、実作を通して木の家という空間の気持ち良さを伝えていきます。また一般社団法人住宅医協会の代表理事として、かかりつけ医のように、既存住宅の状態をきちんと把握し、必要に応じて治療ができる人材の育成と、調査診断や改修技術の開発等を行ってきました。その豊富な経験を元に、近年環境への配慮の観点からも既存住宅の活用が求められる中、既存住宅を改修して住み継いでいくための実例から得た手法、一般の方に改修して住み継ぐことの重要性を周知していく手法等を説明して頂きます。

15:10~
15:20

休憩(10分)

15:20~
16:15

「県内事業者による改修事例紹介と講師による講評」

事例紹介者1 株式会社幸建設 幸 康史氏
「温熱環境にフォーカスしたリノベーション」
事例紹介者2 seg住宅建築事務所 瀬口正美氏
「中古住宅購入から再生まで」(仮題)
講師 Ms建築設計事務所 代表取締役 三澤文子氏

上記2名にそれぞれ手掛けられた既存住宅の改修事例を紹介して頂きます。
またその事例について講師に講評して頂きます。

16:15~
16:30

質疑(10分)、お知らせ(5分)

主催 公益社団法人 大分県建築士会
問い合わせ：097-532-6607

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

★②.和のすまいをつくろう @ホルトホール大分

将来のすまい手や住まいづくりの担い手となる子供の住意識向上を図る事を目的とし、間取りキットを使って和室の間取りから建物完成まで作成し、その過程を通して「和のすまい」のすばらしさを理解し、建築に興味を持ってもらいます。さらにはモノづくりの素晴らしさを伝えていきます。より多くの方に参加いただきますよう、ご案内いたします。

記

日 時: 令和5年10月15日(日) 13:30～16:30


場 所: J:COMホルトホール大分 402会議室(和室)

参加費: 500円

定 員: 15名程度

対 象: 小学生以上、どなたでも参加できます。



主催  公益社団法人
大分県建築士会 大分支部

和の住まいをつくらう

日本人の生活習慣が変化したことで、伝統的な和の住まいに暮らす人の数は少なくなりました。しかし、現代の暮らしの中に和の住まいの要素を取り込むことで、私たち日本人が育んできた豊かな精神性と生活文化を再発見できるのではないかと考えています。

当日は、和の住まいの要素を学び、キットを使って和の住まいの『間取り』を作成します。

その過程を通して、建築の楽しさや、ものづくりの素晴らしさを一緒に体験しませんか。

日時：令和5年10月15日(日) 13:30~16:30
場所：J:COMホルトホール大分 4階 402会議室 (大分市金池南一丁目5番1号)
参加費：500円
定員：15名程度
対象：小学生以上、どなたでもご参加できます

申込先 公益社団法人大分県建築士会 大分支部

TEL : 097-532-6607

FAX : 097-532-6635

MAIL : info2@oita-shikai.or.jp

※電話、FAX又はメールでお申込みください。

※氏名、年齢、連絡先をお知らせください。

※頂いた個人情報は、建築士会からのご連絡以外には使用いたしません。

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

★③.磯崎新大分市美術館連携「おおいたの推しの建築展」の開幕@大分市美術館

磯崎新氏が昨年暮れにお亡くなりになり、その追悼の意味を込めて「おおいたの推しの建築展」が下記のとおり開催されます。

大分支部の会員の皆さんが中心になって進めてきた「大分県建築士会のイベント」です。

オシカツ(推しの建築活動)、オシホン(推しの書籍)、オシケン(推しの建築)、磯崎新と大分市、ARTPLAZA建築キッズフォトコンテスト作品展と盛沢山のテーマで1か月程開催されます。是非足を運んで楽しんでください。お待ちしております～す!!

記

期 間:令和5年10月20日(金・開幕日)～11月19日(日・最終日)

場 所:大分市美術館 企画展示室1

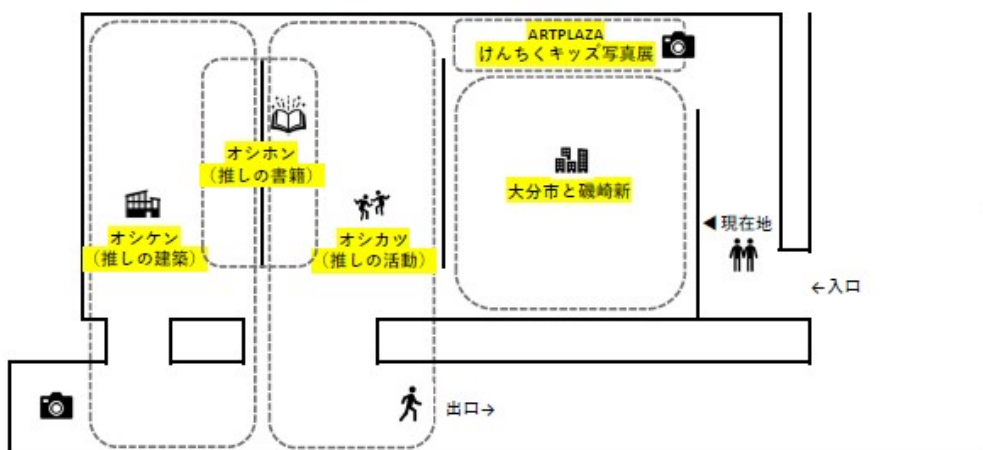
入場料:無料

会場案内

建築や都市はとても大きな存在です。最新の技術で造られ、たくさんのお金がかかり、長い歴史の上に建つ学問でもあります。それ故にわかりにくさがあります。この展覧会では建築関係者だけではなく、広く多くの皆さんにわかりやすく楽しんで頂けることを願いながら企画しました。

「推し」とは、近年使われている造語です。イチオシから派生したものとわれ、人に進みたいほどのキャラクターやモノを「推し」と呼びます。本展覧会では、大分の建築士たちが推す、すなわち「推し」の建築を展示します。会場を自由に探索して楽しんで頂き「推し」を見つけてください。

会場は下記のテーマに分けて会場構成しています。



推しを見つけてオシールを貼ろう！

受付でお渡ししたオシール（推しのシール）を貼ってください。会場内には、都市、建築、本、活動と様々な展示があります。皆さんが興味を持ってくれた展示にオシールを貼ってください。展示の説明パネルにオシールを貼る場所があります。ぜひ「推し」を発見してください！



★④.建築甲子園大分県大会選考会 @iichiko総合文化センター

工業高校、高等学校、工業高専(3年生まで)を対象とした全国設計競技の「第14回建築甲子園」の大分大会が下記のとおり開催されます。

今年度の課題は、「地域のくらし—まちに住む・地域に開く住まい」です。

昨年度以上の力作が出てくるか期待しています!!

記

日 時: 令和5年10月21日(土) 午後(関係者のみ)

場 所: iichiko総合文化センター 会議室

応募予定校: 鶴崎工高=2グループ

案内 ② 定期スケジュール

☆①. 監理技術者講習の開催 (監理技術者以外の方も受講可能)

大分県建築士会では毎月建築工事の事例を多く採りあげた内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。講習会日程は下記のとおりです。CPD6単位が付与されます。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、是非ご受講ください。

【令和5年度の開催予定】

毎月「第2水曜日」の開催予定です。

○日 程: 令和5年

4月12日(水) 済

5月 未開催 済

6月14日(水) 済

7月12日(水) 済

8月 9日(水) 済

9月13日(水) 済

10月11日(水)

11月 8日(水)

12月 未開催

令和6年

1月10日(水)

2月14日(水)

3月13日(水)

○時 間:8:50~16:40〔 受付8:30開始 〕

※8:45~ 8:50の5分間に講習の運営説明があります。

○会 場:(公社)大分県建築士会会議室

○形 式:DVD講習

○定 員:各回3名程度

○受講料:WEB申込 9,500円/窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは[日本建築士会連合会HP](#)よりお申込ください。

☆②.建築士定期講習の開催

建築士事務所に属する建築士に3年毎の受講が義務付けられた定期講習です。令和5年度の受講対象者には4月上旬に(公財)建築技術教育普及センターより「プレ印字版」の受講申込書がご自宅宛てに送付されています。(前回3年前の講習を、(公財)建築技術教育普及センターで受講した方のみ)

【受講対象者】

前回受講年月日が令和2年4月1日~令和3年3月31日の所属建築士の方

【令和5年度の開催予定】

年8回の開催予定です。会場が大分、中津、日田の3会場です。

また、受付窓口を建築士会、建築事務所協会で担当していますので、お間違えの無いようお願いします。

○日 程:令和5年

4月～6月 未開催 **済**

7月19日(水) **済**

(大分会場/受付窓口:建築士会)

8月23日(水) **済**

(中津会場/受付窓口:事務所協会)

9月 6日(水) **済**

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

10月24日(火)/ 9月 1日受付～10月13日

(大分会場/受付窓口:建築士会)

※定員に達した為、受付を終了しました。

11月14日(火)/10月 2日受付～11月 2日

(日田会場/受付窓口:建築士会)

12月14日(木)/11月 6日受付～定員次第

(大分会場/受付窓口:建築士会)

令和6年

1月17日(水)/12月 4日受付～定員次第

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

2月 未開催

3月12日(火)/ 1月22日受付～定員次第

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

○会 場:大分、中津、日田の3会場

大分会場/大分職業訓練センター

中津会場/中津建設会館

日田会場/日田市AOSE 多目的ホール

※申込については、窓口申込の他、郵送での申込を受付けています。

※申込書のダウンロードについては、(公財)建築技術教育普及センターのホームページをご覧ください。

<https://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teikikoshu/kteiki/index.html>

※(公財)建築技術教育普及センターでは、講義から修了考査まで全てをオンラインで完結する「オンライン講習」も実施しています。

詳細は、こちらをご覧ください。

[オンライン講習\(WEB講義+WEB修了考査\) 建築技術教育普及センター](#)

[ホームページ \(jaeic.or.jp\)](http://jaeic.or.jp)

☆③.既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新講習)の開催

改正宅建業法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習を修了し、登録されることが必要です。

※資格を取得した年度の3年後の年度末までが有効期限となります。

有効期限が終了するまでに更新講習を受講すると継続的に資格を保持できます。

【令和5年度の開催予定】

○新規講習(年1回開催)

日 程:令和5年11月22日(水)

開 場:(公社)大分県建築士会会議室

○更新講習(年2回開催)

日程①:令和5年8月22日(火) 済

開 場:コンパルホール

日程②:令和6年1月16日(火)

開 場:(公社)大分県建築士会会議室

申込と詳細については、下記URLの連合会のHPの「既存住宅状況調査技術者講習」をご覧ください。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujoyokyochosa.html>

【オンライン学習(新規講習・更新講習)のご案内】

インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて

受講可能です。修了考査の解答までオンラインで完結します。

☆④.まちづくり・建築よろず相談会の開催

本年度の大分支部公益事業として、大分市まちなみ企画課・住宅課と(公社)大分県建築士会の協働により、まちづくりや住宅等に関する身近な相談を受ける場を定期的を開催しています。

今年度より省エネについても相談を受け付けています。下記のとおり開催しますので、皆様の周囲でお困りの方がいましたら周知いただき、お気軽にご相談ください。

❖都市計画や、区画整理事業、地域の活性化、まちの景観向上などのまちづくりに関することは、大分市まちなみ企画課が、空き家問題に関することは、大分市住宅課(空き家相談出張窓口)が相談を受けます。

❖木造住宅の耐震化や、省エネ、住宅等の設計・増改築、工事、トラブルなどでお困りの相談に、大分県建築士会大分支部会員(建築士資格を持った会員)が建築専門家としての立場から適切な意見やアドバイスをを行います。
(現在係争中の案件は相談対象外となります。)

【令和5年度の開催予定】

毎月「第3木曜日」の開催予定です。

(大分市まちなみ企画課・空き家相談出張窓口と同時開催)

○日 程:令和5年

4月20日(木) 済

5月18日(木) 済

6月15日(木) 済

7月 9日(日) 済「建築士の日」記念事業

7月20日(木) 済

8月17日(木) 済

9月21日(木) 済

10月19日(木)

11月16日(木)

12月21日(木)

令和6年

1月18日(木)

2月15日(木)

3月21日(木)

○時 間: 10時～12時(休憩) 13時～15時

○会 場: J:COMホルトホール大分

1階 まちづくり情報プラザ(図書館入口横)

○相談料: 無料

○その他: 相談内容がわかる資料(図面、写真、契約書など)があれば
お持ちください。

案内 ③ 連合会からのご案内

▲ 1.新型コロナウイルス感染症関連情報

連合会のHPに「新型コロナウイルス感染症関連情報」が掲載されています。
ご覧ください。

内容は順次更新されております。最新の情報をご確認ください

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2020/2020-00-00.html>

【内容】

1. 各種講習会に関する情報
2. 建築士試験・建築士制度に関する情報
3. 各団体等への要請等に関する情報
4. 新型コロナウイルス感染症に関する国土交通省の対応
5. 関連情報

※大分県の新型コロナウイルスに関するお知らせは、以下をご覧ください。

<https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/>

※大分市の新型コロナウイルス感染症特設ページは、以下をご覧ください。

<https://www.city.oita.oita.jp/o029/coronavirus.html>

▲ 2.建築士賠償責任補償制度(けんばい)

耐震偽装事件以降、国民の建築業界への不信が高まる中、建築物の安全性を確保するために重要な役割を担う建築士として、日々適正な業務遂行のために力を注いでおられることと思います。

一方で、品質管理をどんなに徹底しても、不測の事故が発生してしまう可能性を完全に排除することができないのも現状です。

このような事態に備え、公益社団法人日本建築士会連合会を契約者とし、建築士会会員が経営・勤務または所属する事務所の方を加入者とする建築家賠償責任保険、請負業者賠償責任保険、サイバーリスク保険の団体契約のご案内です。

建築士としての業務の安定化を図り、不測の事態への賠償資力を確保するために、より多くの会員事務所が本制度にご加入されますようご案内申し上げます。

※概要につきましては、[こちらのチラシ](#)をご覧ください。

※詳しい内容や保険料、お申込みについては[日本建築士会連合会HP](#)をご覧ください。

▲ 3.民間(七会)連合協定工事請負契約約款の改正について

令和5年1月1日付で民間(七会)連合協定工事請負契約約款が改正されています。

1月1日以降現行約款を使用される場合には発注者・受注者間において、工事請負契約約款の特約として、「変更合意書」を締結の上ご使用くださいますようお願い申し上げます。

令和5年度より大分県建築士会事務局では、改正版を取り扱っています。

○金額(税込) 会員:837円 一般:930円

※詳しくは、以下の(公社)日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

<https://aba-svc.jp/cur/main/index.cgi?mode=detail&iid=4&tm=1669102962>

▲ 4.民間(七会)連合協定 小規模建築物工事約款、 マンション修繕工事約款、 リフォーム工事約款の改正について(お知らせ)

民間(七会)連合協定工事請負契約約款(元請契約約款)を令和5年1月1日付で改正することをお知らせいたしました。今般、当委員会が発行する「小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款」「マンション修繕工事請負契約約款」及び「リフォーム工事請負契約約款」につきましても、令和5年(2023年)2月1日付で同様の改正を行うことと致しましたので、この旨お知らせいたします。

今回の改正の目的は、反社会的勢力排除のさらなる徹底を図るため暴排条項を充実させたこと(三約款共通)並びに危険な盛土等の発生を防止するため建設発生土の搬出先等を明確化すること(小規模建築物工事約款のみ)にあります。

1. 改正内容(新旧対照表)

○小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/microbuilding-r0502-old-and-new-list.pdf>

○マンション修繕工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/condominium-r0502-old-and-new-list.pdf>

○リフォーム工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/renovation-r0502-old-and-new-list.pdf>

2. 約款改正日 令和5年(2023年)2月1日(三約款共通)

(改正約款販売開始日2月20日以降)

3. 現行約款への対応

当委員会では、上記のとおり令和5年(2023年)2月1日付で当委員会約款を改正することから、その日以降に現行約款を使用される場合には、発注者・受注者間において、工事請負契約の特約として、別紙「変更合意書」を締結の上、ご使用下さるようお願い申し上げます。

※変更合意書は現行版(令和2年4月改正版)本契約書締結と同時に、別途に双方記名押印して取り交わすことを予定しています。本契約を補充する文書として、200円の印紙の貼付が必要です。

(変更合意書)

○小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/microbuilding-r0502-modification-agreement.pdf>

○マンション修繕工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/condominium-r0502-modification-agreement.pdf>

○リフォーム工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/renovation-r0502-modification-agreement.pdf>

▲ 5.免状型の一級建築士登録証明書」の発行

近年、カード型の一級建築士免許証明書の交付を受けた建築士等から、一級建築士の免許を保有している事を証明するものを、建築事務所に掲示したい要望に対応するため、「免状型」の一級建築士登録証明書(事務所等掲示用)を発行する事になりました。

○発行手数料: 1,780円

○証明される内容: 氏名(フリガナ)、生年月日、登録番号、登録年月日
など

※詳しくは、[こちらのチラシ](#)をご覧ください。

案内 ④ 図書・書式のご案内

▲ 1.各種契約書類及び契約約款(改正版)の発刊

民法等の改正を踏まえた以下の改正版(令和2年4月改正)が発刊されています。

○「四会連合協定 設計・監理業務委託契約書類」

・一般価格 1,320円(税込)

・会員価格 990円(〃)

- 「四会連合協定 小規模向け設計・監理業務委託契約書類」
 - ・一般価格 1,100円(税込)
 - ・会員価格 880円(＼)
- 「民間連合協定 工事請負等契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 930円(税込)
 - ・会員価格 837円(＼)
- 「小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 900円(税込)
 - ・会員価格 809円(＼)
- 「民間連合協定 マンション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 930円(税込)
 - ・会員価格 837円(＼)
- 「民間連合協定 リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」
 - ・一般価格 580円(税込)
 - ・会員価格 522円(＼)
- 改正日 令和2年4月1日

※連合会発行「会報 建築士」令和3年9月号に契約約款の特集記事が掲載されております。

※図書の問合せは、士会事務局までご連絡ください。

電話:097-532-6607 メール:info@oita-shikai.or.jp

連載 まっちゃんの伝建地区を巡る旅



松崎和夫さん(本会事務局長・専務理事)が、建築士会の「おおい
た地域貢献・まちづくり推進委員会」の委員長や、「町並みとまちづく
りを考える県民の会」にも所属され、伝統的建造物や歴史的な町並
みの奥深さに魅了されて、伝建地区を巡っていると聞き、寄稿をお
願いしました。

巡り歩いた全国の伝建地区を連載で紹介します。

寄稿者多忙なため休載します。

連載 ザキヤマさんの秘境奇行



山崎豊史さん(佐伯建設設計部/本会副支部長)が、廃墟や、秘境を巡るマニアックな?趣味をお持ちと聞き、寄稿をお願いしました。

山崎さんが、「秘境めぐり」や「廃村廃墟めぐり」をしようと思ったきっかけは子供の頃から地図を見るのが大好きで都会よりも山岳集落や離島集落での暮らしや歴史に興味を持ち始めたのが始まりで、現地に踏み入り当時の想いを馳せ身をもって体験したいとの思いがあったとのこと。

「秘境めぐり」「廃村廃墟めぐり」を連載で紹介します。

寄稿者多忙なため休載します。

交流ひろば

日本には広場が少ないと、故 村松幸彦先生(元建築士会会長)がよくおっしゃっていました。多くの参加者が集い、この場が会員相互を繋ぐ「ひろば」になれば良いなあと思います。



話題の建築

ご存じの方も多くいると思いますが、

和田恵利子さん(空のすまい設計室)が、

「大きな屋根の小さなすまい」で

「おおいた 木の良さを生かした建築賞2019」最優秀賞を受賞されました。

今回は、当時の受賞について伺いました。

応募したきっかけをお聞かせください。

和田さん: 応募した家は独立して、最初の物件で師匠である熊本の古川保先生に何かと相談していました。当初は予算の関係で土壁にするのは難しいと考えていましたが、「サステナブル建築物等先導事業(気候風土適応型)」に応募してみてもとのアドバイスをいただき、採択されました。その流れで、完成後は「おおいた木の良さを生かした建築賞」に応募してみてもどうかと案内をいただいて、応募してみることにしました。

この賞の素晴らしいところは、設計者だけでなく、お施主さん、施工者の三者を表彰してくれるところです。建物は、お施主さんがあってこそ建つものであり、さらに施工者がいなければ作ることはできません。建築主、施工者、設計者の三者で表彰式に出席できた事もとても良い思い出です。

受賞された「大きな屋根の小さなすまい」の概要と評価された点などをお聞かせ下さい。

和田さん：100坪の敷地にたった18坪の小さな平屋で、夫婦2人、子供1人の3人暮らし。小さくても、地域の材料を使って、地元の職人さんに腕をふるって作ってもらった伝統的な木組みと土壁のすまいです。夏は深い軒が暑い日射を遮り、土壁の調湿効果と自然の風を室内に採り込むことで涼を、冬は大きな窓からの日射と薪ストーブの熱を土壁に蓄熱させて暖を採ります。自然のエネルギーを利用して快適に暮らす知恵が日本の住まいにはあります。

鈴木義弘審査委員長の審査講評では、「大きな屋根の小さなすまい」は以下のように講評いただいたそうです。(聞き取りなのでちょっと正確ではありませんが。。。)

『このコンペの趣旨である「木の良さを生かした」というコンセプトに最も沿った建築であり、非常に高い評価をしました。住まいは実にコンパクトでありながら、しかしながら外部に広がりを持たせたプランでした。伝統職人の技術を生かした建物というのも評価しました。この住宅を中心に廻りもますますよい住環境になることの願いも込めて満場一致で最優秀賞に決定しました』

今回の「大きな屋根の小さなすまい」を始め設計するうえで特に重要視している点などをお聞かせください。

和田さん：大分の気候風土に合ったすまい、そして、日本の伝統的な職人さんの技術が継承されていくことを前提とした設計を重要視しています。その土地の陽射しの入り方、風、周囲の環境などの自然条件を考慮してなるべくエアコンに頼らずとも快適に暮らせるように考えます。大分の木を天然乾燥し、大工さんの手で墨付け・手刻みし、金物に頼らず伝統的な継手・仕口で木を組み上げる伝統構法の家を設計しています。予算と時間が許す限りは土壁を現場で練って、お施主さんも一緒に竹小舞の下地を編んだり、左官さんと共に荒壁土を塗ったりと施主さんにも家づくりに積極的に参加してもらいます。このような伝統的な技術はその仕事をずる機会があってこそ、次の世代へ受け継がれていきます。

2025年には省エネ法が住宅でも義務化されますが、このような住まいは、省資源で環境負荷が少なく、住んでからのエネルギー消費量も少ないのにもかかわらず、外皮基準をクリアできません。そこで国は、伝統的な技術の承継を可能とする仕組みとして、このような気候風土に合った伝統的なすまいを気候風土適応住宅と定義し、緩和措置を設けてくれました。気候風土適応住宅は、国の基準のほかに所管行政庁が定める基準というのもあり、ただ今大分県では、建築士会、建築士事務所協会、建築家協会の各委員のみなさまと一緒に大分県基準の策定に向けて尽力しております。

会員減少等の大問題もありますが、建築士会発展のポイント・方向性などをお聞かせください。

和田さん：建築士の受験者自体が減少傾向にあるので、減少はやむを得ないことかもしれませんが、少ない人数だからこそ一丸となることができるのではとも考えます。私は出産・育児で建築士会の活動から離

れていましたが、昨年末の佐伯での女性部の交流会や、先日のアートプラザで行われた「THINK OF ARATA ISOZAKI」イベントで会員の皆様とご一緒させていただきました。離れていても定期的に連絡くださり、温かく迎えてくださいました。

個人の設計事務所なので、常に孤独ですが建築士会に入れば仲間ができるというのが魅力ですね。

■コンセプト

大きな屋根の小さなすまい ～大分の木でつくる気候風土適応住宅～

100坪の敷地にたった18坪の小さな平屋の住まいである。夫婦2人、子供1人の3人暮らし。小さくても、地域の材料を使って、地元の職人に腕をふるって作ってもらった大分県産の杉の木と土壁の伝統構法の家。夏は深い軒が暑い日射を遮り、土壁の調湿効果と自然の風を室内に採り込むことで涼を、冬は薪ストーブと土壁の蓄熱性能を利用して暖を採る。自然のエネルギーを利用して快適に暮らす知恵が日本の住まいにはある。真に省エネの住まいとは、最新の機器に頼らず、自然の恵みを最大限に活かした住まいと考える。



小屋組みが見える家族室と子供室の長さ間口屋根の形に合わせた勾配天井と全開口できる雨樋の木製器具から縁側へと続く。開放すれば小さくても広さを感じられる



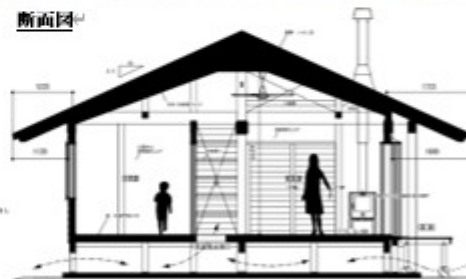
総材積は25.85㎡ 高天井だと1㎡あたり0.45㎡



18坪と小さな家だが、軒が深いので屋根の面積だけで30坪ある。



家族室を中心に廊下のない長さ間口で成り立つ空間



六軒の長さは家の寿命に比例する。
1m～1.5m以上ある軒は強い日射と雨風から家を守り、縁側から見える景色は私たちの心を豊かにする。

- ④輸送コストを抑える地域材、重油を使わない昔ながらの製法や素材(いぶし瓦、土壁、漆喰)、梁・柱の構造材が見える真壁造りは傷みの発見が容易で修理が簡単。耐久性は60年以上。費用を耐用年数で割ればローコスト。
- ⑤昔からある日本の伝統的な技術で建てられた家は、古民家を見ても分かるように長寿命の住まいであり、災害があっても修繕しやすいようにつくられている。この優れた日本の技術は未来へと継承していきたい。
- ⑥土地分時のことを考え、土に還る素材で家をつくることを心掛けている。この家では絶対に費用がかかり、埋め立てゴミにしかならない石膏ボードは一切使用していない。



大分の山で育った杉、竹と葉で編まれた土壁。昔から日本にある漆喰、いぶし瓦。地元の職人が古来より受け継いできた伝統的な技術で腕をふるう。人の手で丁寧につくられた住まいには心地よい空気と時間が流れる。

敷地には極力コンクリートは打たず、雨水を浸透させるように草を生やし照り返しを防ぐ



私は伝統的な木組みと土壁の住まいについて2人の師から学んだ。*

その2人の共通の言葉が「仕事があれば技術は受け継いでいける」だった。その2人の言葉を胸に故郷である大分で7年前に独立し、自らの設計指針を立てた。*

「100年後、古民家と呼ばれる住まいを目指して 日本の伝統建築の職人の技を未来へ」*

私のミッションは、2人の師から学んだことを大分で実践していきたいということだった。独立のきっかけとなった住まいが、実姉夫婦の家である。最初の一棟目。私の8年にわたる修業の集大成であった。*

地域の職人がつくる伝統的な木組みと土壁のすまい。一般に伝統的構法の住まいは工事期間も長く、それだけ手間がかかるので初期費用は高い。しかしながら、長寿命の住まいなので耐用年数で割れば安い。この初期費用を予算内で納めるための工夫が必要だった。①家を小さくする②家の工事に施主も参加するの2点が功を奏した。さらに、この家をつくる上で解決しなければならない大きな課題がひとつあった。それは、大分に一つだけ残っていた土壁製造者が土壁の製造を辞めてしまったこと。土壁の家をつくるためには、自分たちで土壁をつくるしかないことだった。*

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



私のほっとHotタイム

趣味や気分転換、息抜き、熱中している事等を語っていたくコーナーです。

今回は、衛藤祐介さん(MCS環境計画一級建築士事務所)に寄稿していただきました。

野菜作り10年選手

人間歳をとってくると、自然に回帰するようだ。それは、自分自身がそう遠くない将来に自然に戻ってしまうことを悟るからかもしれない。

70の齡(よわい)を過ぎると、周りの友人も畑作業に興味を示す人が多くなる。

家庭菜園など、決して経済的に優位ではない。労働時間、種や苗、肥料、もろもろの農機具への投資は、農業機械を使わずとも、結構な金額である。

しかも、収穫した農産物は、無料で周りに配ってしまうのだから、ボランティア以外の何物でもない。

60歳前から野菜作りに手を出し、もう10年を超えた。

その間、1年間の「農業塾」通い。大分市の行なうこの塾は野津原支所で講義の受講と隣接する畑での実践作業。しかし、農薬を目いっぱい使う日本的農業は受け入れがたく、実習で収穫する立派な野菜をもらえることだけが目的で終わったような気がする。

野菜作りは戦いである。

獣は野菜の食べごろを、実に良く知っている。明日は収穫時かなと思っていると、朝にはきれいに無くなっている。ハクビジンは九州には生息していなかったが、徐々に進出してきているようだ。ここの畑を襲うのは、アライグマ、イノシシ、キジ、カラス。時々サル。

取るか取られるか、知恵比べだ。

なぜ、このような野菜作りを続けるのだろうか。

育てる喜びがあるから。野菜をあげた人の笑顔がまぶしいから。
そして、泥だらけになって、土の香りに包まれるから。



掲示板 (他団体の案内や新聞記事等の掲示をします)



新聞記事:ダブラ・エム個展—持続可能な社会をつくる建築家の試み

光浦高史さん(DABURA.m/大分支部常議員)の個展が掲載されました。

【大分合同新聞:令和5年9月4日(月)掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

新聞記事:磯崎建築を学ぶ講座

【大分合同新聞:令和5年9月5日(火)掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。




新聞記事：磯崎新シンポジウム

「磯崎新の謎」をよみとく

【大分合同新聞：令和5年9月17日（日）掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

【大分】大分市は10月7日、市出身の世界的建築家で、昨年12月に亡くなった名誉市民の磯崎新さん（享年91）の業績を振り返るシンポジウムを市内荷揚町のアートプラザで開く。今月20日まで参加者を募っている。無料。



開催は午後2時～4時。「磯崎新の謎」をよみとく」と題し、親交のあった浅田彰さん（京都芸術大大学院教授）、青木淳さん（建築家）ら識者4人がパネルディスカッションをする。

磯崎さんの業績振り返る

大分市で来月7日シンポジウム

市は追悼式（10月7日）など追悼行事を企画しており、シンポジウムはその一環。担当する市教委は「幅広い範囲の功績を多方面から紹介したい」と話している。

定員100人（応募者多数時は抽選）。申し込みは、Eメール、または往復はがき（20日必着）に必要事項を記載し、市教委美術振興課へ。1人1通まで。1通につき2人分まで応募できる。

問い合わせは市教委美術振興課（097・554・5800）。

（渡辺久典）



シンポジウム

「磯崎新の謎」 をよみとく

コーディネーター **浅田彰** 京都芸術大学大学院芸術研究科教授

パネリスト **青木淳** 建築家・AS共同主宰

田中純 東京大学大学院総合文化研究科教授

高山明 演出家・アーティスト

磯崎新氏と親交のあった4人の識者が
磯崎氏の業績を振り返り「謎」を読み解きます

日時：令和5年10月7日（土）午後2時～4時

場所：アートプラザ 2階アートホール

募集定員 100人（要事前申込）

募集要領

メールまたは 往復はがきにて、9月20日（水）までに 大分市美術館美術企画課へ申し込み。
下記①～④の必要事項をお知らせください。メール受付は9月20日（水）午後11時59分まで、件名に
「10月7日磯崎新シンポジウム申込」と記入してください。申込募集多数の場合は抽選
①希望する講座名…「10月7日 磯崎新シンポジウム」
②参加者全員の氏名、年齢（※小学生以下は保護者同伴）
※1通で1人または2人の申込とします。3人以上の申込はできません。
③代表者の電話番号（緊急連絡のできる番号）、名前、メールアドレス
※申込は1人1通とします。2通以上の申込は無効となります。

申込先

メール：artsinkou2@city.ota.ota.jp 宛
往復はがき：〒870-0830 大分市大字上野865番地 大分市美術館 美術企画課 行

・・・一般献花・・・

市民の皆様が平康を示す場として、献花台をアートプラザ2階の60'sホールに設置します
10月7日（土）午後2時～午後5時30分
10月8日（日）午前9時～午後5時30分
10月9日（月）午前9時～午後5時

・・・関連の展覧会・・・

磯崎新のデザイン術

会期：9月30日（土）～令和7年3月（予定）
場所：アートプラザ3階 磯崎新建築展示室

グダ・リバイバル

会期：9月30日（土）～令和7年3月（予定）
場所：アートプラザ2階 60'sホール

おおいの推しの建築展 ～磯崎新と大分のまちづくり～

会期：10月20日（金）～11月19日（日）
場所：大分市美術館 企画展示室

大分市美術館 第3期コレクション展

追悼 磯崎新 ポスト・モダンの時代

会期：9月21日（木）～12月24日（日）
場所：大分市美術館 展示室3・4



〒870-0835 大分市大字上野865番地

TEL 097-554-5800 FAX 097-554-5811 MAIL artsinkou2@city.ota.ota.jp

大分支部青年部「班員の募集」について



大分支部青年部には、情報班、まちづくり班、造形班の三班があります。

職場も職種も違う同年代が集まり、楽しく活動していますが、より発展的な活動のためにも班員が不足気味です。

班員を随時募集してますので、事務局(阿南・山田)までお気軽にご連絡ください。

お待ちしております!!

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp



大分支部 賛助会員一覧

【法人会員:38社】

- ・日本製鉄(株)九州製鉄所 ・(株)佐伯建設 ・梅林建設(株) ・平倉建設(株)
- ・東九州設計工務(株) ・後藤建設(株) ・鬼塚電気工事(株) ・協栄工業(株)
- ・日本暖房鉄工(株) ・(有)中山建材店 ・野内硝子(株) ・(株)三高産業
- ・(株)総合資格大分支店 ・(株)江藤建設工業 ・(株)建築資料研究社大分支店
- ・(株)飯田建築設計事務所 ・(有)佐藤建築設計事務所 ・(株)熊野建設
- ・柴田建設(株) ・(株)平和建設 ・東洋建販(株) ・(株)大分電設 ・(株)古城

- ・柳井電気工業(株) ・(株)エンワ ・庄司工業(有) ・YKKAP(株)大分支店
- ・オリエント産業(株)大分支店 ・(株)栄工社 ・(株)大分住宅研究室
- ・(株)松村硝子店 ・豊國建設(株) ・新日本法規出版(株) ・新成建設(株)
- ・大分県インテリアコーディネーター協会 ・日本加除出版(株)
- ・積水ハウス(株)大分支店 ・(株)シーピーユー九州支店

【個人会員:16名】

- ・岡本様 ・佐藤様 ・山下様 ・(株)清電社8名 ・(株)安部電業社3名
- ・アトリエ藤原次郎 ・(株)後藤泰幸建築工房

※順不同

賛助会員とは、士会定款第6条第4項に「個人又は団体で本会の事業を賛助するものとする。」と定められた会員の方です。

本会の活動の趣旨に賛成して、助力をいただいております。

法人会員の住所等は、[こちら](#) をご覧ください。

➡ 事務局よりお知らせ

朝夕は涼しくなって、秋の気配を感じるようになりました。気候変動に体調を壊してはいませんか？

皆さんご存じのように「**おおいたの推しの建築展**」が来月から1か月程開催されます。大分支部会員の皆さんが中心となって、その準備に追われているところです。

2月に大分市美術館から磯崎新の追悼展を実施するが、スペースを無償で貸すので、建築士会で何かやらないかとの打診があり、会長に相談して、折角の機会だからやろうという事で総会での承認をいただき企画・検討が開始しました。

コア会議を中心に検討を重ね、幾度のアイデア出しから方向性を見出し「**おおいたの推しの建築展**」で進める事となりました。

しかし、予算が相当にオーバーし、いい企画だが実現できるのか?????

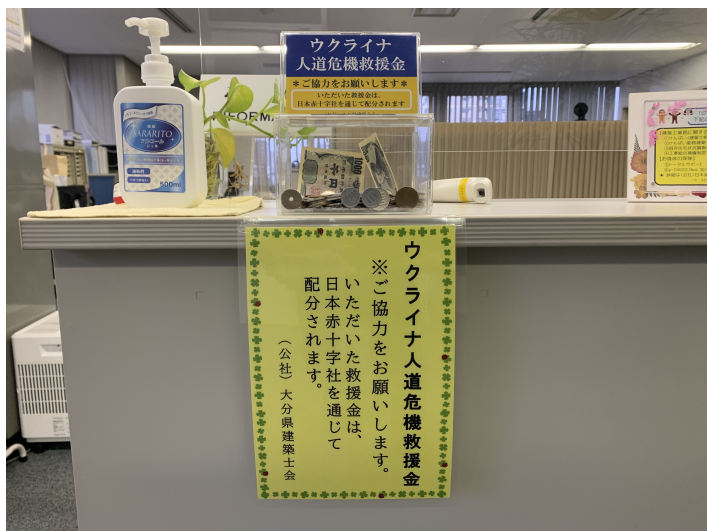
コア会議と並行して共催する大分市、大分市美術館とも幾度も協議を重ね、何とか実現が見えてきました。

今回の取組を通して、大分支部の皆様のとてつもない底力を見たような気がします。

生みの苦しみはつづきますが、本当にお疲れ様です。

建築展は10月20日(金)開幕、11月19日(日)最終日です。

皆さんお誘いあわせの上、是非足を運んで楽しんでください。お待ちしております!!



大分県建築士会事務局に寄せられた「ウクライナ人道危機救援金」の募金額

1月	8,094円
2月	14,332円
3月	5,458円
4月	5,040円
5月	5,383円
6月	5,340円
7月	4,288円
8月	4,282円

※募金箱は事務局に常設していますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

皆さん!!「事務局ニュース」の紙面づくりに参加しませんか!!

記事投稿、話題提供、ご意見、ご感想などを、事務局(阿南・山田)までお気軽にお寄せください。お待ちしております!!

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp

※掲載された写真等をご希望の方は、事務局へご連絡ください。



大分県建築士会大分支部メール 2023(令和5)年9月29日発行 第**113**号
事務局:〒870-0045 大分市城崎町1丁目3番31号 富士火災大分ビル3階
TEL:097-532-6607 FAX:097-532-6635

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

This email was sent to info2@oita-shikai.or.jp

[why did I get this?](#) [unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)

大分県建築士会 大分支部 · info2@oita-shikai.or.jp · Oita, 44 870-0045 · Japan

